

**デジタルカメラ「X シリーズ」用交換レンズ 開発ロードマップの最新情報を公開**  
**新たに 3 本のレンズを加え、34 本の充実したラインアップであらゆる撮影領域をサポート**

2018 年 7 月 20 日

富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)は、独自の色再現技術で卓越した写真画質を実現するデジタルカメラ「X シリーズ」用交換レンズの開発ロードマップの最新情報を公開します。

今回の開発ロードマップでは、大口径標準単焦点レンズ「フジノンレンズ XF33mmF1 R WR」(以下、「XF33mmF1 R WR」)、広角単焦点レンズ「フジノンレンズ XF16mmF2.8 R WR」(以下、「XF16mmF2.8 R WR」)、標準ズームレンズ「フジノンレンズ XF16-80mmF4 R OIS WR」(以下、「XF16-80mmF4 R OIS WR」)の 3 本を新たに加えました。ますます充実した 34 本のラインアップであらゆる撮影領域をサポートします。

なお、今後、単焦点レンズを大口径タイプの「大口径プライム」と小型軽量タイプの「コンパクトプライム」の 2 つのシリーズとして、またズームレンズのハイエンドタイプを「レッドバッジズームレンズ」シリーズとして、ミラーレスデジタルカメラでの撮影の楽しみを提案していきます。

〈今回新たにロードマップに追加した 3 本のレンズ〉

**① 大口径標準単焦点レンズ「XF33mmF1 R WR」**

- ・「大口径プライム」シリーズの標準レンズです。焦点距離 33mm(35mm 判換算:50mm 相当)で、世界で最も明るい※開放 F 値 1.0 を実現。豊かなボケ味を活かした撮影をお楽しみいただけます。

**② 広角単焦点レンズ「XF16mmF2.8 R WR」**

- ・「コンパクトプライム」シリーズの広角レンズです。16mm(35mm 判換算:24mm 相当)の焦点距離、開放 F 値 2.8 でスタイリッシュな外観を実現。日常の気軽なスナップ撮影や風景撮影、旅先での撮影などに最適です。
- ・既に発売している「フジノンレンズ XF23mmF2 R WR」「フジノンレンズ XF35mmF2 R WR」「フジノンレンズ XF50mmF2 R WR」に、今回新たにラインアップする「XF16mmF2.8 R WR」を加えた、小型軽量・スタイリッシュな外観のレンズラインアップで、広角から中望遠まで広い撮影領域をカバーし、撮影の楽しみをさらに広げます。

**③ 標準ズームレンズ「XF16-80mmF4 R OIS WR」**

- ・広角 16mm～中望遠 80mm(35mm 判換算:24mm～122mm 相当)の焦点距離をカバーし、幅広い撮影領域に対応する標準ズームレンズです。
- ・ズーム全域において開放 F 値 4.0 の明るさで撮影することが可能。優れた接写性能も備え、室内や夕景などさまざまなシーンを 1 本でカバーできます。

富士フイルムは、本日、大口径超広角ズームレンズ「フジノンレンズ XF8-16mmF2.8 R LM WR」、大口径望遠単焦点レンズ「フジノンレンズ XF200mmF2 R LM OIS WR」の発売を発表しました。今回、開発ロードマップに示した 3 本も加えた幅広い製品ラインアップで、多様な撮影ニーズに応えていきます。

※ オートフォーカス機能付きの交換レンズとして。2018 年 7 月 20 日時点。当社調べ。

